

# 風土記の丘の花だより<sup>117</sup>

## 今、そしてこれから見られる植物(2022年1月8日)

新年あけましておめでとうございます。今年もご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。今年のウメは開花が遅れそうです。前年度は年末には白梅も紅梅も何輪か開花していたのに、今年はまだまだ「つぼみかたし」の状態です。



それで、ウメはウメでもロウバイから紹介しましょう。実は、ロウバイはウメではありません。ウメはバラ科、ロウバイはロウバイ科の植物です。小早川家の庭で開花しています。まだまだツボミの方が多いので、これから見頃でしょう。あちらこちらに何株か植えられていますから、甘い香りをたよりに探してみてください。



万葉植物園の入り口を過ぎた左側でシキミの花が咲いています。昨年暮れから咲いていますが、ほとんど目立ちません。今年もいつも通り右から2本目の木が一番早く咲き出しました。どういう訳かあとの木は遅く咲くので、シキミの花を長い間楽しむことができます。少し前まで実がなっていたように思いますが、季節の移り変わりは早いものですね。



スイセンもたくさん咲いてきました。写真のようにいくつかの品種が植えられています。八重咲きのもの、真っ白なもの、そして最もポピュラーなニホンスイセン、どれも寒い季節に咲いてくれるので心が和みます。ちなみに属名

Narcissus はナルシストという言葉と同じ語源を持ちます。



今年寅年、それにちなんでトラと付くシダを紹介します。以前にも紹介したかも知れませんがトラノオシダです。20cm足らずで、石垣の間などに普通に生える小さなシダです。この形がトラの尾に見えるというのですが、いささか無理のあるネーミングですね。私はどこをどう見ても、トラのしっぽには見えません。でもまあ、見える人にはそう見えるのでしょうか。松下